

授業科目名	演奏/歌唱トレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年木村充揮を父に持つ木村俊章とロックバンド「BAHARANA」結成。 ・ジョニー吉長、内田勤太郎、寺岡呼人等大御所ミュージシャン・バンドと共演を重ねる。 ・2012年6月バンド活動休止後は、ソロアーティストとして活動中。 				
授業概要					
<p>【歌唱】ヴォイストレーニングで培った技術を、実際の歌唱に活かせるようにアプローチする授業です。 この授業を通して、チェストヴォイス～ミドルヴォイス～ヘッドヴォイスをスムーズに繋げられるようになることが目標です。</p> <p>【演奏】課題曲を使って楽曲のアナライズを行うことで、コード・スケール・リズムなどの楽曲の構造を理解します。 また、様々なリズムに対応することで、基礎的な技術からより高度な技術まで幅広い技術の体得を目指します。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】楽曲の中で、母音・子音の変化するスピードに対応できるようになり、歌唱技術と表現力が大幅にアップします。 また、新しいスケールである、ブロークンスケール・5TONEを使用することで、より密接に歌唱と連動させることができます。</p> <p>【演奏】課題曲毎にスケール・リズム考察を行うので、自身の音楽活動における作曲・アドリブプレイに応用出来るようになります。 また、多様なリズムパターンについてレッスンするため、アレンジやプレイにおけるリズムアプローチが多彩になります。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【歌唱】1オクターブ(ブロークンスケール)・5TONEスケールのトレーニング 【演奏】スケール・エクササイズ(メジャー・ナチュラルマイナー・ペンタトニック)/課題曲①スローブルース
【前期】 9～16回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、広い母音(ア・オ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケール・エクササイズ/課題曲②スカ・レゲエのリズム
【前期】 17～24回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、狭い母音(イ・エ・ウ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケールを適用したフレーズ作成/課題曲③④ボサノヴァ・サンバのリズム
【前期】 25～32回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、課題曲を使用した母音トレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/ハーモニクスの原理と奏法/課題曲⑤ファンク 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、全ての母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑥ファンクビートの発展
【後期】 47～54回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、子音・母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑦16beatのソウルナンバー
【後期】 55～62回目	【歌唱】苦手な子音・母音・音域を分析し、個々にあった対応トレーニングの実践 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/16分音符・3音連符のオスティナートによるリズムエクササイズ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	【歌唱】長時間の声帯閉鎖・喉頭の正しい位置の持続させ、持久力を獲得するためのトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/5拍子・変拍子のリズムエクササイズ
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	現代ではJ-Popやアニソンにおいても、音楽理論上高度なテクニックが数多く使用されています。 課題に対する技術的な難易度は上がりますが、じっくりと取り組んで技術をものにしていきましょう。 また、様々なリズムパターンに取り組むため、普段から幅広くいろんなジャンルの音楽を聴くように心がけましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱ベーシックⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年 阪神若手音楽祭グランプリ受賞。2010年 河島英五音楽賞にて最優秀賞獲得。 ・2008年 シングル全国発売。ハドソン系着うたサイト インディーズランキング2位獲得。 ・2009年 GOING KOBE 09 出演。2010年 サマーソニック 2010 in東京 出演。 ・2012年 ユニット活動休止後、ソロ活動開始。 				
授業概要					
<p>【歌唱】既存曲から自由に選曲し、個々の歌唱力・客観性・楽曲に対する考察力を高めます。 1年次に培った基礎を下地に、更に実力を向上させ、個々のオリジナリティと様々な現場での対応力を磨きます。</p> <p>【演奏】現代のポピュラー音楽を理解し、演奏するために必要な知識と技術の習得を目指します。 課題曲を使って、楽曲のアナライズからフレーズ作りまで行うことで、総合的に演奏に応用できるようになります。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】ヴォイストレーニングで培ったテクニックを応用して、個々にあった歌唱表現が出来るようになります。 また、客観的に自身の歌唱を分析することで、オーディションやコンテスト対策としても活用することができます。</p> <p>【演奏】コードトーン、テンションコード、代理コード等を反復して学ぶので、 どのようなジャンルの楽曲にも対応できる知識とスキルが身につきます。 また、インプロヴィゼーションやオリジナルの楽曲制作に役立てることができます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】課題曲① 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認 【演奏】Chord Tone Training (Maj7・m7) / Pentatonic Positions / Rock Coordination・Feet-Rudiments Exercise
【前期】 5～8回目	【歌唱】課題曲① 暗譜と表現力の向上/仕上げ 課題曲② 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認 【演奏】Chord Tone Training (Dominant 7th) / Harmonics / Rock Coordination・Feet-Rudiments Exercise
【前期】 9～12回目	【歌唱】課題曲② リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】Chord Tone Training (I VI II V) / Hm・Mm Diatonic Positions / Rock Coordination・RH/LF Diagonal Coordination
【前期】 13～16回目	【歌唱】課題曲③ 楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】Chord Tone Training (minor II V I) / Dominant Motion / Rock Coordination・RH/LF Diagonal Coordination 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【歌唱】課題曲④ 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認 【演奏】課題曲① 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / テンションコード / Feet-Rudiments Exercise
【後期】 24～27回目	【歌唱】課題曲④ 暗譜と表現力の向上/仕上げ 課題曲⑤ 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認 【演奏】課題曲② 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / コードトーンでのアドリブ / Feet-Rudiments Exercise
【後期】 28～31回目	【歌唱】課題曲⑤ リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】課題曲③ 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / コードトーンでのアドリブ / RH/LF Diagonal Coordination 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【歌唱】課題曲⑥ 楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ 【演奏】課題曲④ 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / ペンタニックの新たな使い方 / RH/LF Diagonal Coordination
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次に扱ったコードの世界を更に拡げていくために、理論的な知識を学びながら演奏のエクササイズをしていきます。 多彩な「響き」を操って、自身の楽曲制作や演奏の質を大きく向上させていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱リズムトレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1975年「ボビー&リトル・マギー」でレコード・デビュー。「NASA」「Shogun」「Chicken Shack」などにドラマーとして参加。 ・1998年よりリズム&ドラム・マガジン誌にて「ドラマー立志風雲録」連載開始。 ・「60sドラム定番大百科」など、リットーミュージックより教則本も多数出版。 				

授業概要	
【歌唱】洋楽のブラックミュージックを通して、R&B・ディスコ・ファンク等、ブラックミュージックのグルーブを意識した歌唱法を学びます。 また、日本語曲も洋楽の曲がモデルになっている楽曲を取り上げ、日本語でのリズムアプローチを身につけます。	【演奏】世界中で演奏されている様々なジャンルに取り組みます。各ジャンルで反復したエクササイズを行いますので、リズム感の向上だけでなく、フィジカルトレーニングにも役立ちます。
到達目標	
【歌唱】リズムを意識した歌唱法が身に付くので、声の抑揚・フェイク・アドリブなどの幅広い表現歌唱を習得することができます。 また、リズム感を養うことで、本番でのパフォーマンス力の向上に繋がります。	【演奏】リズムに対してよりシビアな感覚が身につくので、単純なリズムもより明確にとらえられるようになります。 また、様々なジャンルに取り組むことで、各ジャンルの特徴的なフレージングやタイム感、グルーブ感などを習得できます。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】課題曲① 英語曲「スタンダードソウル」/リズムアナライズ /リズム楽器を使つての歌唱 【演奏】8beaのリズムを中心とした4小節フレーズの作成 / 8/12拍子のブルースのリズムエクササイズ
【前期】 5～8回目	【歌唱】課題曲② 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えた4小節フレーズの作成 / 1ドロップの典型的レゲエビートのリズムエクササイズ
【前期】 9～12回目	【歌唱】課題曲③ 英語曲「ディスコ・ファンク」/リズムアナライズ /リズム楽器を使つての歌唱 【演奏】8beaのバリエーションを交えた8小節のフレーズ作成 / ポサノヴァ・サンバなどのラテンビートのリズムエクササイズ
【前期】 13～16回目	【歌唱】課題曲④ 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えた8小節のフレーズの作成 / ディスコ系ファンクビートのリズムエクササイズ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「クリスマスソング」/リズムアナライズ /リズム楽器を使つての歌唱 【演奏】II-V進行でのスケールアプローチを用いたフレーズ作成 / JB'sスタイルのファンクビートのリズムエクササイズ
【後期】 24～27回目	【歌唱】課題曲⑥ 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】クロマチックアプローチを用いた交えたフレーズ作成 / シンプルなコードの4beat JAZZエのリズムエクササイズ
【後期】 28～31回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「現在のブラックミュージック」/リズムアナライズ /リズム楽器を使つての歌唱 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えたフレーズの作成 / 6/8拍子のアフロキューバンビートのリズムエクササイズ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「現在のブラックミュージック」/リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 / フルコーラス歌唱テスト 【演奏】リズムチェンジを交えたフレーズの作成 / 7/8拍子を含む変拍子のリズムエクササイズ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	色々なリズムを経験することで音楽への知見が拡がり、ポキャブラリーやアイデアに広がりが出ます。 多様なアレンジの楽曲への対応力が身に付くので、作曲・アレンジ力、アドリブ力が養われます。 また、事前に課題となる音楽ジャンルの楽曲を聴いておくと、より理解が深まります。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱 分野別基礎実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	111回(222単位時間)	年間単位数	7単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年に「twenty4-7」を結成し、2007年にavexからメジャーデビュー。 ・シングル・アルバム通算15枚をリリース。 ・2012年9年間の活動を経て「twenty4-7」解散後、現在はソロとして活動中。 				
授業概要					
<p>【歌唱】J-POPの名曲を通して、歌唱の基礎からビブラートなどの高度なテクニックまで学びます。 また、レコーディングにおけるモニタリングやコミュニケーションの方法などを身につけ、現場で柔軟に対応できるヴォーカリストを目指します。</p> <p>【演奏】課題曲を通して、課題となるテクニックや奏法を習得していきます。また、撮影・録音を行うことで自身の演奏を客観的に捉え、自身の演奏の長所・短所を認識し、表現力のアップを目指します。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】歌唱の中で、細かな装飾やアーティキュレーションなどのテクニックを使えるようになるので、自身の個性や表現力が大きく向上します。 また、レコーディングを通して、作品に対する理解力・発想力・技術力を高め、各自の弱点・問題点を再確認することができます。</p> <p>【演奏】楽曲を分析・練習する中で、音楽理論などの具体的使用例を確認することができます。 また、客観的に自身の演奏を振り返ることで、苦手パターンを克服し、パフォーマンスが格段に向上します。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～12回目	【歌唱】課題曲① 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング① 【演奏】課題曲① 楽曲のフレーズ・リズムの確認/演奏クオリティをアップするためのトレーニング/撮影・録音による確認①
【前期】 13～24回目	【歌唱】課題曲② 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング② 【演奏】課題曲② 楽曲のフレーズ・リズムの確認/セクションのつながりを意識したトレーニング/撮影・録音による確認②
【前期】 25～36回目	【歌唱】課題曲③ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング③ 【演奏】課題曲③ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/特殊なテクニックとリズムへの対応/撮影・録音による確認③
【前期】 37～48回目	【歌唱】課題曲④ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング④ 【演奏】課題曲④ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/アーティキュレーションへの取り組み/撮影・録音による確認④ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 49～57回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 58～69回目	【歌唱】課題曲⑤ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑤ 【演奏】課題曲⑤ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/演奏クオリティをアップするためのトレーニング/撮影・録音による確認⑤
【後期】 70～81回目	【歌唱】課題曲⑥ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑥ 【演奏】課題曲⑥ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/セクションのつながりを意識したトレーニング/撮影・録音による確認⑥
【後期】 82～93回目	【歌唱】課題曲⑦ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑦ 【演奏】課題曲⑦ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/特殊なテクニックとリズムへの対応/撮影・録音による確認⑦ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 94～105回目	【歌唱】課題曲⑧ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑧ 【演奏】課題曲⑧ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/アーティキュレーションへの取り組み/撮影・録音による確認⑧
【後期】 106～111回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	難易度の高いプレイにも挑戦しマスターしていくことで、成果に裏打ちされた自信を身に付けられます。 楽曲の構成・アレンジなども分析するとともに、それらを意識した演奏ができるようにし、自身の音楽活動へ反映できるように取り組みましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱 分野別応用実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・「宝bunebune」のメンバーとしてライブ、ミュージカル、TV、CMなどで活躍。 ・3ピースバンド「フォレストマウス」を率いて、AXIA'03にてグランプリ獲得。 ・サポートギタリストとしても数々のライブやレコーディングに参加。 				
授業概要					
<p>【歌唱】読譜能力を高めて、メイン旋律に対してのハーモニーのヴォイスングを学んでいきます。 1年生で学んだことをさらに発展させていき、総合的な歌唱技術の向上に結び付けていきます。</p> <p>【演奏】既存のスタンダード曲からスタイルを形作っている要素を学ぶことで、ここまで学んできた技術と知識を活用していきます。 コード進行やリズムに対して複合的に取り組んでいき、アンサンブルを意識した演奏のバリエーションを深く学びます。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】メイン旋律に対してハーモニーをつけることが出来るようになります。 また、コーラスワークやアカペラへの発展など、多彩なヴォーカルスタイルに対応できるようになります。</p> <p>【演奏】フレーズやリズムに対する正確さが格段に向上します。また、演奏スタイルのバリエーションが増えるため、アンサンブル等で多彩なアプローチで演奏することが可能になります。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	<p>【歌唱】課題曲①「デュエット曲」 Key = C・F・Gのメロディー譜/ハーモニーの作成とヴォイスング</p> <p>【演奏】ハーモナイズドスケールの組み合わせ/ライティングリズム/リズムコントロールエクササイズ</p>
【前期】 9～16回目	<p>【歌唱】課題曲①「デュエット曲」 インターバル・エクササイズ/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】メジャーキーでのIVI進行/ヴォイスリーディングの原理/リズムコントロールエクササイズ</p>
【前期】 17～24回目	<p>【歌唱】課題曲②「ダンス曲」 Key = B♭・Dのメロディー譜/ハーモニーの作成とヴォイスング</p> <p>【演奏】ダブルストップ(3度・4度・6度)/シングルノートリズムパート/スタイルを反映したアプローチの実践</p>
【前期】 25～32回目	<p>【歌唱】課題曲②「ダンス曲」 インターバル・エクササイズ/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】ポインティング1-5-7-3のドミナント7thコードの転回形/リズムチャート</p> <p>【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	<p>【歌唱】課題曲③「デュエット曲」 3パートハーモニーの作成とヴォイスング/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】メジャー7thの1-7-3-5ポインティングの転回形とその適用/バラードチューンの演奏</p>
【後期】 47～54回目	<p>【歌唱】課題曲④「ダンス曲」 3パートハーモニーの作成とヴォイスング/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】マイナー7thの転回形/アルペジオのリズムチャート/3連符系のリズムコントロールエクササイズ</p>
【後期】 55～62回目	<p>【歌唱】課題曲⑤「ソロ&ハーモニーパフォーマンス曲」 1人1人にソロパートを当て、コーラスも全員で歌唱</p> <p>【演奏】ロックンロールスタイルに根差したアドリブ/バックビートを強調したクラシックファンク</p> <p>【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【後期】 63～70回目	<p>【歌唱】課題曲⑤「ソロ&ハーモニーパフォーマンス曲」 1人1人にソロパートを当て、コーラスも全員で歌唱</p> <p>【演奏】トライアドの発展/ブラジル音楽やカントリーなどのリズムバリエーション</p>
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<p>・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/小テスト/平常点などを総合的に評価</p> <p>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</p>
学生へのメッセージ	<p>1年次に比べて、楽曲の難易度は上がっていきます。</p> <p>また、個人での演奏ではなくアンサンブルとしての精度を磨くことに主眼を置いていますので、アイコンタクト・タイミング・ハーモニーやピッチの正確などを、さらに突き詰めてい授業です。</p>
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	アンサンブルⅡ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメソング等で活躍する串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。 ・「David Lee Roth BAND」の「Toshi Hiketa」氏の教則DVDのレコーディング、ライブシューティングに参加。 ・現在自己のバンド「selfish square」で活動中。 ・楽器メーカーのモニター・デモンストレーター、アーティストサポート、映画音楽、セッション等多方面で活躍。 				
授業概要	<p>バンド形態での授業を通して、人とのコミュニケーション、音楽を作り上げていく過程の全てを学んでいきます。 課題曲をライブ演奏に近い状態でアンサンブルするので、技術面のみならず音作りや各パートのバランス調整の実践など、 多様な面にアプローチで総合的な音楽力を養います。 他パートの学生との共同作業としてすすめるので、音楽仲間との交流・バンドメンバー探しの機会としても活用することができます。</p>				
到達目標	<p>他の楽器を聴きながら演奏するため、より実践的なパフォーマンス能力を身につけることができます。 また、アンサンブル授業での演奏から楽曲の構造・アレンジなどを体感し、今後の自身の音楽制作へ反映することができます。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	アンサンブル授業ガイダンス//マイク、ミキサー等、バンドスタジオ内の機材の説明/各パート毎のオリエンテーション 【男子曲①女子曲①】音量バランス/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 9～16回目	【男子曲②女子曲②】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 17～24回目	【男子曲③女子曲③】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 25～32回目	【男子曲④女子曲④】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	【男子曲⑤女子曲⑤】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 47～54回目	【男子曲⑥女子曲⑥】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 55～62回目	【男子曲⑦女子曲⑦】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	【男子曲⑧女子曲⑧】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	<p>アンサンブル授業は各コースからなる合同授業です。 人とのコミュニケーションが重要になっていくので、人に対しての伝え方、相手が何を思い演奏しているか、 プレイヤーとしてのスキルだけではなく、人としてのスキルも高めていきましょう。 このアンサンブルを通し、より深い音楽の楽しさを体験し、レベルの高いアーティストを目指しましょう。</p>
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	アンサンブル実技Ⅱ		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・Bob James、Ken Navarroなど海外アーティストと数多く共演。 ・大西ユカリ、植村花菜、akikoなどのメジャーアーティストのサポートメンバーとしてツアーやレコーディングに参加。				
授業概要					
「アンサンブル」の授業の課題曲を事前に練習する授業となります。 課題曲はヴォーカルに合わせて男子曲と女子曲の2曲あり、楽器演奏のコースは2曲とも演奏できるように練習します。 演奏上のポイントや具体的な奏法など技術的な指導をすると共に、楽曲分析により曲の理解を深めます。 この授業を通して、楽曲の聴き方や音楽の楽しみ方を学び、人と人が奏でる音楽「アンサンブル」に繋がっていきます。					
到達目標					
楽曲の構造・アレンジなどを理解し、今後の自身の音楽制作に反映させることが出来る。 スタジオでのバンド演奏の前に、楽曲を予習しておく重要性を認識し、十分に練習を積んだ上でアンサンブルに臨む姿勢を身につけることが出来ます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【男子曲①女子曲①】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 5～8回目	【男子曲②女子曲②】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 9～12回目	【男子曲③女子曲③】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 13～16回目	【男子曲④女子曲④】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【男子曲⑤女子曲⑤】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 24～27回目	【男子曲⑥女子曲⑥】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 28～31回目	【男子曲⑦女子曲⑦】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【男子曲⑧女子曲⑧】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	アンサンブルはカラオケと違い、一緒に演奏するメンバー全員で楽曲をつくりあげます。 自身のプレイだけでなく、音量バランスや他の人の演奏に意識を向けられるよう、余裕をもった演奏ができるように繰り返し練習しましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	オリジナル制作Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター/ギターヴォーカル/アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。				
授業概要					
メロディー作りやアレンジのテクニックを向上させ、オリジナル楽曲のクオリティアップを目指します。 また、コードやヴォイスの精度を上げ、オリジナル楽曲の総合的な完成度の向上に取り組んでいきます。					
到達目標					
各音楽ジャンルのリズムや構造の違いを理解することで、楽曲制作の幅が飛躍的に広がります。 また、コードやヴォイス、スケールを理解し応用することで、楽曲の表現力をさらにアップさせることができます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	楽曲制作テーマ「ロック曲」 メジャー・ダイアトニックコードを使っての楽曲制作/テンションコードについての理解を深める
【前期】 5～8回目	楽曲制作テーマ「ダンス曲」 セカンダリー・ドミナントやパッシング・ディミニッシュ、モーダル・インターチェンジ等のノン・ダイアトニック・コードを加えた応用
【前期】 9～12回目	楽曲制作テーマ「バラード曲」 分数コードとスケールについての理解を深め、応用的に活用した楽曲制作
【前期】 13～16回目	楽曲制作テーマ「自由曲」 個々までの知識と技術に応用した、自由テーマでのオリジナル楽曲制作 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	楽曲制作テーマ「映像音楽/オーケストラ」 ストリングスやホーンなどのアレンジやヴォイスの基礎①
【後期】 24～27回目	楽曲制作テーマ「映像音楽/オーケストラ」 ストリングスやホーンなどのアレンジやヴォイスの基礎②
【後期】 28～31回目	楽曲制作テーマ「JAZZ/民族系音楽」 カウンターポイントについての理解を深め、サブメロディーやハーモニーなどのヴォイスを行う 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	楽曲制作テーマ「卒業制作」 ここまで学んだ知識や技術を応用して、自由テーマでのオリジナル楽曲制作
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の筆記及び実技試験を70点で評価 提出課題を20点で評価 ・平常点 出席率及び授業の受講態度を10点として評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次よりも高度な理論を身につけて、より完成度の高い作品を作れるように取り組みましょう。 ジャンルごとの特徴を理解して、オリジナル曲を制作し、且つ全パートをアレンジすることで、 楽曲を総合的にとらえる感覚を養っていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏 歌唱分野別々ゼミ		授業形態 / 必選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>前期は主に、音楽業界の仕組みや関連業種の仕事内容を理解していきます。中々外からでは仕事内容が伝わりにくい業界の、各職種の特徴と役割を学びます。</p> <p>後期は、楽器等のイクイップメントやアーティスト研究を行いながら、楽園祭や卒業コンサートの企画をし、イベント制作に挑戦します。</p>					
到達目標					
<p>音楽業界の各職業の仕事内容や役割を理解し、音楽ビジネスについての基礎的な知識を身に付けることができます。</p> <p>また、イベントの企画などを通じて、協調性を獲得するとともに、自身の音楽活動に反映させることができます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音楽業界の仕組み プロダクションの働き/レコード会社の働き/音楽出版社とJASRACの働き
【前期】 5～8回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事/業界用語と舞台用語
【前期】 9～12回目	音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れ/楽曲制作の仕組みとコンペシステム
【前期】 13～16回目	音源制作の仕事② プリプロの重要性/レコーディング作業の流れ/マスタリングとは？/ジャケット制作 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	いろいろなエフェクター講座/楽園祭企画ミーティング
【後期】 24～27回目	アンプ類とドラムの基礎知識/録音や音響機器の基礎講座
【後期】 28～31回目	ジャンル別アーティスト研究/国内アーティスト研究 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	卒業コンサート企画ミーティング
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ミュージシャンとして必要な音楽関連の幅広い知識を得ることができる授業です。 また、イベント企画などのミーティングを通じて、自発的に行動できる人間へと成長できることを目指しています。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を1回目の授業で配布

授業科目名	ワードエクセル講座		授業形態 / 必選		講義 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験17年。 大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめます。 特許事務所のパテントエンジニアを経た後、本格的に現在のICT、CAD教育業務に携わる。 その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。					
授業概要						
Word・Exceの使用法を学び、効率の良いビジネス文書や書類の作成が出来る事を目指します。 また、PCに慣れていない学生が多いため、PCでの作業が利便性に長けている事を実感させ、苦手意識を無くしていきます。						
到達目標						
現在、ほとんどの仕事で必要となるWord・Excelの基本的な使用方法を習得することができます。 また、PCの基本的な操作方法も身につけることができるため、卒業後のビジネスシーンで役立てることができます。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Word ① 文字入力の基本/漢字変換の方法/MSIME(日本語入力システム)の機能の理解/ビジネス文書の基本的な形式の理解
【前期】 5～8回目	Word ② ビジネス文書の基本的な形式の理解/書式設定の方法/段落の概念の理解/作成中の文書の保存
【前期】 9～12回目	Word ③ ビジネス文書を完成/書式の印刷/段組の設定/タブとリーダーの設定
【前期】 13～16回目	Word ④ 表の挿入/表の編集/画像の挿入/画像の編集/図形を描くことができる/テキストボックスの挿入
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	Excel ① Excelの構成の理解/データの入力手順/入力データの編集/演算記号や数式の入力
【後期】 24～27回目	Excel ② 相対参照と絶対参照の理解/罫線を使った表の作成/表示形式等の書式設定
【後期】 28～31回目	Excel ③ グラフの作成と書式設定/よく使われる関数(RANK.EQ・IF・TODAY・NOW・ROUND・VLOOKUP・COUNTIF・SUMIFなど)
【後期】 32～35回目	Excel ④ データベースの理解/並べ替え・抽出・自動集計・テーブルなどの作成/便利な機能の活用
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の実技テスト90% 平常点10%で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	PCの基礎知識から学んでいきますので、PCに触れたことがないという方も安心して下さい。 しっかり基礎からサポートし、PCを使えるようにしていきます。 また、Word・Excelはビジネスシーンにおいて必須のスキルとなりますので、一緒に楽しく勉強していきましょう
使用教科書	Word・Excelのパソコンソフト / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

授業科目名	デザイン講座		授業形態 / 必選	講義 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経験:34年 主に電器・通信関係を中心とした販売促進用ツール(ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット)を作成。 また、パッケージ・広告・書籍のレイアウト・装丁などのほか、CDジャケット・ポスター・フライヤー・グッズ等の音楽関係の制作物も数多く手掛けるなど、幅広いデザインワークを展開している。				
授業概要	デザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学んでいきます。 前期は、DTP業界の「事実上の標準ツール」となっているAdobe イラストレーターの基本的な操作方法の修得を目標に進行し、 後期は、フォトタッチアプリケーションのAdobe フォトショップの操作方法も交えて、実際の制作物を例にした課題を作成していきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーター、フォトショップを活用し、デザインの基礎的な知識と技術を習得できます。 ・デザインによる効果的な表現の伝達ができるようになるとともに、実務的な印刷用データの作成ができるようになります。 ・自身の音楽活動の中で必要となるフライヤーやCDジャケットなどのデザインを自身で制作できるようになります 				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	イラストレーター ① アプリケーションの概略の理解/環境設定/塗りと線/各属性の設定/オブジェクトの描画/
【前期】 5～8回目	イラストレーター ② 基本的な編集操作/オブジェクトの複製/パスの基本的な描画/パスの編集/カラー設定
【前期】 9～12回目	イラストレーター ③ レイヤーの使用による編集/ツール・メニューを使ったパスの変形・編集/オブジェクトの組み合わせによる編集
【前期】 13～16回目	イラストレーター ④ オリジナルのキャラクターの制作/文字関連の機能/文字の編集機能を使ったレイアウトとデザイン
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	フォトショップ フォトショップによる画像編集/ビットマップとベクターの違いを理解/RGBとCMYKの違いを理解/ファイル形式の変更
【後期】 24～27回目	練習課題「ランチメニュー」の制作 イラストレーターとフォトショップを使って指示通りの形式データの作成/効果的に情報伝達のできるデザインの実践
【後期】 28～31回目	練習課題「ライナーノーツ」の制作 文字の編集/指示通りの形式の印刷用原稿データの完成/効果的に情報伝達のできるデザインの実践
【後期】 32～35回目	練習課題「CDジャケット」の制作 写真・画像・文字を使った総合的なデザインと印刷用データの完成
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の実技テスト90% 平常点10%で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	皆さんが町中で見るフライヤー・ポスター・Tシャツなどのデザイン物はイラストレーターやフォトショップといったソフトウェアを使ってデザインされています。 これらのソフトウェアの使用方法とデザインの基本を学んで、自分だけのデザインを作れるようマスターしましょう。
使用教科書	Illustrator・Photoshopのソフトウェア / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

授業科目名	日本のロック史講座		授業形態 / 必選		講義 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当	□
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業。 大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてパイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。 その後、自身でインディーズレーベル「RIMEOUT RECORDINGS」を設立、CDの制作販売やライブイベントの企画などを行っている。					
授業概要						
日本のロックに重点を置いたポピュラーミュージックの歴史について学んでいきます。 日頃私達が触れている様々な音楽がどのように形成されたのか?時代的な変化がどのようにして起こったのか?などを見つめ 今後の音楽シーンについての考察を行います。						
到達目標						
・過去の豊かな音楽遺産を発見することができます。 ・多くの音楽に触れることで音楽的な知識が増えるので、自身の音楽活動や音楽制作に反映させることができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	1950年代～60年代初期 日本のロックの黎明期 ウエスタンカーニバル/ベンチャーズの登場/エレキ・インスト・ロックの大流行
【前期】 5～8回目	1960年代中期～後期 グループサウンズの時代 ビートルの来日/グループサウンズの大流行/タイガース・テンプターズ・スパイダース・ブルーコメッツ
【前期】 9～12回目	1970年代初期～中期 日本のロックの誕生 フォークソングの台頭/日本のロック元年/ジャックス・フォークルセイダース
【前期】 13～16回目	1970年代中期～後期 ニューミュージックの誕生と日本のロックの多様化 はっぴいえんど/フラワートラベリングバンド/村八分/カルメン・マキ&OZ/ダウンタウン・ブギウギ・バンド/サザン・オールスターズ
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	1980年代後期～1980年代中期 テクノポップ・パンク・ニューウェーブ時代の到来 YMO/プラスチック/東京ロッカーズ/RCサクセション/アースシェイカー/BOOWY/インディーズレーベルの誕生
【後期】 24～27回目	1980年代中期～後期 バンドブーム(イカ天・ホコ天) ブルーハーツ/ストリート・スライダース/ユニコーン/ X /スチャダラパー/電気グルーブ/プリンセス・プリンセス/B'z
【後期】 28～31回目	1990年代 渋谷系～マーケティング・ポップの時代 フリッパーズギター/ピチカートV/Mr.Children/スピッツ/シャ乱Q/GRAY/L'Arc en Ciel/
【後期】 32～35回目	2000年代 Hi-STANDARD/くるり/モンゴル800/サンボマスター/多人数アイドルグループの時代/K-POP
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト90% 平常点10%で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	現在の音楽シーンは急にボンとできたわけではありません。 過去の偉大な音楽家達が、切り開いてきた道の延長線上に、現在の音楽シーンが成り立っているわけです。 この過程を振り返ることで、新たな音楽シーンの創造の一助としてください。
使用教科書	授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

授業科目名	DTM講座		授業形態 / 必選	講義 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1989年自身のバンド「テラローザ」でキングレコードよりデビュー。6枚のアルバムを発表 ・セッションキーボーディストとして、多数のライブやレコーディングに参加。 ・PCゲーム「イース3」「Bloody Chronicle」等のサウンドトラック作曲 				
授業概要					
ProToolsを使用して、譜面をMIDI入力することにより、各ジャンルのリズムやアレンジの特徴を理解していきます。また、後期からはストリングスやブラスを使用したオーケストラ・アレンジの基本を理解し、様々なカテゴリーのサウンドトラックや劇中伴奏にも対応できる知識を獲得していきます。					
到達目標					
PCによる楽曲制作が出来るようになるとともに、ポピュラーミュージックとオーケストラのアレンジを理解することができます。また、MIDIデータの入力技術のアップにより、完成した楽曲のクオリティが格段に進化します。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (Motown/Funk/Philly Soul)
【前期】 5～8回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (Black Cotemporary/80～90th Ballad/New Jack Swing)
【前期】 9～12回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (HipHop/House/Techno/Euro Beat)
【前期】 13～16回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (現代のHipHop・R&B・Pops)
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	ストリングスの課題アレンジ① ストリングスの音域・編成・奏法と音色/ストリングスの打ち込みの基本
【後期】 24～27回目	ストリングスの課題アレンジ② スタッカート/駆け上がりフレーズ/トリル/ピチカートなどの奏法別の入力方法と特徴の理解
【後期】 28～31回目	ブラスの課題アレンジ 金管・木管各楽器の構造・奏法・音色と、ブラスの基本アレンジの理解
【後期】 32～35回目	オーケストラ課題曲「くるみ割り人形-葦笛の踊り」の譜面入力 各パートの楽器の特徴と役割を理解
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の実技テスト90% 平常点10%で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次に学んだDTMスキルをより高度に発展させる授業です。ポピュラーミュージックの各ジャンルやオーケストレーションについても学んでいくので、演奏の幅やアレンジの幅が広がっていくことになります。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	作詞作曲講座		授業形態 / 必選	講義 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。 				
授業概要					
<p>課題曲の制作を通して、音楽力を養ってゆく授業です。 音楽活動におけるオリジナリティーや音楽性の獲得は、作詞作曲にあると言っても過言ではありません。 作詞作曲を通して、自身の表現力を高めオリジナリティーの獲得を目指します。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・作詞作曲の制作を通して、コードやメロディーに対する感受性を育てることができます。 ・コード、スケール、転調などの知識を身に付けることができるため、楽曲制作に大きな幅を得ることができます。 ・卒業後やデビュー後にも活用することができる知識と表現力を身に付けることができます。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題制作①「Cメジャースケール」を使用して、作詞テーマ「風景」でオリジナル楽曲の制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/Cメジャースケールのヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【前期】 5～8回目	課題制作②「Cメジャースケール」を使用して、作詞テーマ「片思い」でオリジナル楽曲の制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/Cメジャースケールのヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【前期】 9～12回目	課題制作③「Gメジャースケール・セカンダリードミナント」を使用した、作詞テーマ「春」の楽曲制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/Gメジャー・セカンダリードミナントのヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【前期】 13～16回目	課題制作④「マイナースケール」を使用した、作詞テーマ「雨」の楽曲制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/マイナースケールのヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	課題制作⑤「モーダルインターチェンジ」を使用して、作詞テーマ「夏の思い出」で楽曲制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/モーダルインターチェンジのヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【後期】 24～27回目	転調について 短3度上・短3度下・全音上・半音上・下属調・属調 それぞれへの転調の仕方について理解を深める
【後期】 28～31回目	課題制作⑥「短3度上下への転調」を用いた、作詞テーマ「クリスマスソング」の楽曲制作 作詞のポイントのチェック/メロディーの起点についての理解/短3度上下への転調のヴォイスिंग/完成楽曲の録音
【後期】 32～35回目	課題制作⑦ ここまでの知識を用いた自由テーマの楽曲制作/完成楽曲の録音
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期/後期とも提出課題を合計90点で評価 ・平常点 出席率及び課題への取り組み姿勢を10点として評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次よりも高度な理論を身につけて、より完成度の高い作品を作れるように取り組みましょう。 また、各課題制作で取り組んだ楽曲は提出してもらい、評価の対象となります。 きちんとメ切を意識した作品制作が出来るように、積極的に授業に取り組んでください。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	分野別基礎実技		授業形態 / 必選	演習 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンストギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	2001年に、「溺れたエビの検死報告書」というバンドを結成。「Fuji Rock Fes」や「Rising Sun Rock Fes」などに多数出演。 メンバー全員が巧なエビの仮面を装着し、独特のライブパフォーマンスを展開する演劇的な演出や、 バンドのプロモーション活動など、バンド全体を見渡すプロデューサー的な業務をこなす。 また、テレビ番組やCM、映画に楽曲提供するなど、作曲家としても精力的に活動中。				
授業概要					
音楽活動に必要なライブ・音源制作・プロモーション・マーケティングについての知識を学んでいく授業となります。 ここで学ぶ知識や技術は、音楽活動のみでなく、いろいろな方面で役立っていくものとなります。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 自身の音楽活動を自分でマネジメントできる知識とスキルを身につけることが出来ます。 自身の音楽活動をデザインし、どのような活動を行っていくかをプランニングすることが出来ます。 プロモーションに必要な、デザインやHP運営、MV制作などを、ある程度自身で行うことができるようになります。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	セルフマネジメントとは/音楽活動を始めるためのプロフィール作成(自己PR作成・写真撮影とデータ化) 【プロフィールの提出】
【前期】 5～8回目	音楽で収入を得る方法/音楽活動のプロモーション/ロゴ制作【ロゴの提出】
【前期】 9～12回目	ライブの実践についてのノウハウ/自主企画イベントのための準備/企画書の書き方とイベントプランニング 【企画書の提出】
【前期】 13～16回目	イベントに必要な書類作成/フライヤー制作(フォトショップを使ったデザイン)/印刷用データの作成方法 【フライヤーデータの提出】
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	音源を売る方法/音源制作プランニング/レコーディングスタジオ調査/企画書と収支プランの作成 【企画書の提出】
【後期】 24～27回目	CDジャケットデザイン/イラストレーターとフォトショップを使った総合的なデザイン/印刷用データの作成 【ジャケットデータの提出】
【後期】 28～31回目	HP作成 素材集め/プロモーションを意識したデザイン/掲載する情報の見せ方/HPのアップ 【HP URLの提出】
【後期】 32～35回目	プロモーションのためのMV作成/内容と絵コンテの作成/撮影～編集/Youtubeへのアップ 【Youtube URLの提出】
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記 試験を45点で評価 ・授業内の提出物を合計45点で評価 ・平常点 出席率を10点で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	自立した音楽活動を行うためのノウハウが詰め込まれた授業になります。 授業内での提出物や平常点も評価の対象になりますので、しっかりと授業に参加することを心がけてください。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	分野別上級実技		授業形態 / 必選	演習 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 作曲・編曲からレコーディングまでマルチにこなすサウンドクリエイター。 作・編曲家としてはユニバーサルスタジオジャパンのショー音楽制作など、 日本各地のテーマパークやイベントの楽曲制作に携わる。 レコーディングエンジニアとしても、テレビCMをはじめとして、多くの楽曲の録音やミックスを行っている。				
授業概要					
セルフレコーディングができるようになるための授業です。 学内のスタジオを使用しますが、自身で用意できる機材を使い、リハーサルスタジオや自宅で録音ができるようになるためのノウハウを学びます。					
到達目標					
・録音のセッティング等において必要なスキルを身につけ、機材の役割や使用方法を学び、自ら音を録音することができるようになります。 ・レコーディング作業の流れを理解し、各楽器の録音作業を正しく行えるようになる。 ・基礎知識とスキルを身につけることで、自身の音楽制作に役立てることが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディング機材の使い方/録音のセッティングと信号の流れを理解/モニターシステムのセットアップ
【前期】 5～8回目	DAW(Digital Work Station)の使い方/基本的なセッティング/DAWのオペレート方法
【前期】 9～12回目	ヴォーカル録音 ヴォーカル録音セッティング/モニターバランス/コミュニケーション
【前期】 13～16回目	ドラム録音のセッティング/ドラムのセッティングとチューニング/各パーツのマイキング/レベルの取り方
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	ドラム・ベースの録音 D.Iの使い方/ドラム・ベースの録音セッティング/モニターバランス/レベルの取り方
【後期】 24～27回目	ギターとキーボードの録音 ギター・キーボードの録音セッティング/ダビング作業の進め方/モニターバランス/レベルの取り方
【後期】 28～31回目	ヴォーカルダビング ヴォーカル録音のセッティング/ヴォーカルディレクション/ヴォーカル編集とピッチあわせ
【後期】 32～35回目	ミックスダウン 各トラックのトリートメント/バランス調整/カクエフェクターの使い方/レベル調整
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の実技試験を評価の90点で評価。 ・平常点 出席率や授業への取り組み姿勢などを10点で評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	比較的速いスピードで進行する授業となります。 1回休むと理解できないポイントも出てくるので、休まずに参加することを心がけてください。 ミキサーなどの機材の使い方というよりも、録音に必要なベーシックなセッティングや録音方法の習得に重点を置いています。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	電気製作リペア実習		授業形態 / 必選		演習 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	単位数	2単位
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	実務経験14年 高校卒業後すぐに楽器店にてエレキギター講師を務める。その楽器店の影響もあり、この頃よりクラフトや修理に興味を持ち始め、木工、塗装、電気などを学ぶ。 2007年頃より個人で楽器店や知り合いからの修理依頼などを受けるようになり、 2010年大阪日本橋でギター工房を開業。プロアマチュア問わず様々なニーズに対応。 現在は、ギター製作修理のほかにも、エフェクター、各種アンプ、PA・Rec機器の製作修理も行う。					
授業概要						
楽器等に使用されている電気パーツや構造、役割を理解していきます。 また、リペア、メンテナンス時に必要なドライバーやレンチ類などの手工具、はんだ付け、電動ドリルなどの電動工具を正しく扱えることを目指す。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ギター、ベース、ドラム、アンプ、エフェクターなどの知識・構造を学びことで、自身の活動における楽器などのリペア、メンテナンス技術を習得することができます。 ・ここで学んだ知識や技術を使って、ケーブルやアンプ、エフェクターなどを自作できるようになります。 						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ギターのメンテナンス① 工具の扱い方/クリーニング/ギターの分解・組み立て/各パーツの役割を理解
【前期】 5～8回目	ギターのメンテナンス② さまざまなタイプのギターの弦交換方法/チューニング方法/ネック調整
【前期】 9～12回目	ギターのメンテナンス③ 弦高調整/オクターブチューニング/ピックアップ調整/ナット交換
【前期】 13～16回目	ギターのメンテナンス④ ピックアップなどの電気パーツの構造・仕組みを理解/パーツ交換とハンダ付け
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	ケーブル作成 工具の使用方法/各パーツの説明/フーンケーブル制作/キャンオンケーブル(XLR11C-XLR12C)制作
【後期】 24～27回目	アンプやエフェクターのパーツや部品の交換方法/ドラムのメンテナンスやチューニングの方法
【後期】 28～31回目	スピーカー製作 図面作成/プランニング/段ボール、ターミナル、ケーブル等を使った製作
【後期】 32～35回目	ミニアンプ製作 抵抗、コンデンサ、ICなどの電子部品の役割/回路図・配線の説明/ユニバーサル基盤を使った回路の組み立て
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期/後期の実技試験を60点で評価 ・また授業内の課題の仕上がりなどを20点で評価 ・平常点 出席率及び課題への取り組み姿勢を20点として評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ミュージシャンとして活動していくために、自分達が使用する楽器等の基本的な知識や構造を理解して、メンテナンスなどを自分で行えるようになりましょう。 また、工具の扱い方を知ることで、リペアや製作などできることの幅が広がります。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	スタッフ技術実習		授業形態 / 必選	演習 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットシンガー/ダンスヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス ギター/アドバンスドギター/ベース/ドラム/ミュージシャン&声優/ミュージシャン&スタッフ/ アーティスト&クリエイター/DJクラブミュージック				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験33年 株式会社TOP GEAR代表取締役。 関西を中心にライブハウス等での経験を活かし、Anthony Jackson、Victor Wooten、長瀬剛等のツアーに参加。 数々の夏フェスやRADIO CRAZY等にもスタッフ参加。				
授業概要					
基本的にライブハウスやスタジオではたけるようになるための技術を身につけるための授業です。 楽器のセッティングからPA機材のセッティング方法、ミキサーの使い方からステージ転換など、実践的な内容になっています。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> PAの基本的技術や各機材の役割・作業手順を習得していくため、ライブハウスやスタジオで働くための技術が身に付きます。 ミュージシャン・スタッフ、それぞれの立場を理解することで、現場においてコミュニケーションを意識した、円滑な作業を行えるようになります。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホール機材の解説/ケーブルの巻き方/スタンドの立て方/マイクの種類と名称/回線表の読み方/バンドセットの仕込み
【前期】 5～8回目	モニタースピーカの解説/PAミキサーの使い方/ミキサーのレベルの取り方/PreとPostの解説/アウトとインプットチェックの方法
【前期】 9～12回目	PAミキサーの仕込み方/インプットとアウトプットのパッチ/プロセッサーとバイアンプ方式の解説/エフェクターの接続
【前期】 13～16回目	ステージ及びミキサー周りのバンドセットの仕込み実践/GEQの使い方/スピーカーチューニングのやり方
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	PAミキサーの発展した使用方法/MATRIX・GROUPの解説とパッチの方法
【後期】 24～27回目	ステージサイドの仕込みの応用/各楽器へのマイキングの解説/モニターミキサーの使用法とアウトのチェック
【後期】 28～31回目	モニター分岐した場合のバンドセット仕込み/ハウスとモニターの連携/モニターミキサーを含めたインプットとアウトプットのチェック
【後期】 32～35回目	バンドセットの転換シミュレーション/回線チェックとモニタープランニング/各スピーカーチューニング
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 前期/後期の実技試験を65点で評価 平常点 出席率を10点で評価 また授業内の作業の精度や取り組みなどを25点で評価 90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ステージや音響スタッフとしての基礎的な知識と技術を習得することができます。 また、チームとしての動きやコミュニケーションなど、実際の現場で重要になってくる要素も身につけることができます。 基礎から学んで、就職などに活用してください。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布